

第3回中津川市リニアを活用したまちづくり推進市民会議 主な発言内容（要約）

平成31年3月26日(火)15:00～
中津川市役所本庁舎4階大会議室

まとめ

- ・リニア駅周辺のまちづくりについては、観光ターミナルを1階に設置する案で進めてほしいというご意見でした。
- ・中心市街地の活性化については、先に進めてほしいという積極的な意見の中で、拠点施設については、適正な規模や機能の充実を求める意見がありました。

■中心市街地の活性化について

<委員からの主な発言>

- ・中心市街地の拠点としては、図書館が非常に良い。会話も飲食もできる新しい形の図書館、情報館として、幅広い年代が利用する複合施設があると、その周りに民間事業者も出てくるし、向かい側に美術館も整備すれば、より街中が発展し、周辺地域も発展する。
- ・図書館も手狭になっているので、中央公民館の在り方も含めて検討していただきたい。
- ・図書館というものの形態が変わってきて、交流拠点になっている。老若男女というか、小さいお子さんから高齢者までいろんな人が使える。そこでワークショップ、会議などいろいろなことができる。そういう拠点をイメージしている。
- ・3階建てよりもっと大きなものが必要、横に広げることができないか。
- ・拠点施設にはカフェなどもできると思うが、継続して活動していくためにはつくった後のアフターケアも議論しておく必要がある。
- ・拠点施設は少し狭いのではないか。十分なスペースを確保してほしい。色々な方が集まって交流空間にするとすると、たとえば今の図書館をなくして移設する場合、今の図書館が担っている学校への配本のためのスペースを確保するなど配慮してほしい。
- ・図書コーナーについてはよく利用される方の意見を聞いてほしい。
- ・2階に図書コーナーを設けたいとのことだったが、図書館をつくるなら、もう少し議論して中途半端な物を作らない方が良い。反対はしないが、場所など議論した中で中津川市にふさわしいところに設置してほしい。前の建設中止になった当時の二の舞にならないよう、十分に市民合意を形成してほしい。
- ・拠点施設は、子どもたちの居場所を確保するスペース、誰でも立ち寄ることができる子育て世代にやさしい場所、子どもたちが伝統文化を体験できる施設にしてほしい。
- ・3階の子育て支援は、就学前が対象のようだが、もう少し大きなお子さんも対象にして、そうすると区切られたスペースも必要なので、施設規模をもう1階増やすことはできないか。

- ・子育て支援というのも大切だが、これから増える高齢者が集う、活動できる場所を確保、高齢者も何らかの役割を担うことができる場所であってほしい。
- ・子育て支援、障がい者、高齢者が活用しやすいものになればいい。
- ・拠点施設の子育て支援機能について、不登校（学校に行かない）の子どもたちの居場所づくりも期待している。
- ・市民会館のような施設、市民交流機能が必要。
- ・中心市街地の核となるような、施設機能として、中津川市の観光だけでなく、イベント、歴史、市内全域のことがわかる、外に発信できる施設にしてほしい。
- ・建物としては木材を使って整備すると良いのではないか。
- ・駐車場を整備してほしい。
- ・市内の観光施設を繋ぐアクセス整備をお願いしたい。
- ・中津川駅前を再整備し、既存の駐車場が少ないので増やしてほしい。
- ・中心市街地で巡回バスが利用できるようにするといいい。
- ・中心市街地が栄えることで、各地域の人も栄える。人が集まる施設があって、そこに人が集まる。その帰りに買い物ができるというのも一つの方法。岐阜の商業モール、土岐のアウトレットも参考にしながら取り組んだらどうか。
- ・空き店舗の活用が必要。
- ・ビジネス客向けに歓楽街というか、夜も遊べるところも必要なのでは。若者の雇用につながる。規制緩和も必要。
- ・新町まで来てもらうための仕掛けを作ることで、アクセス道路、中心市街地が活きてくる。そういう計画が必要なのではないか。
- ・中心市街地の人口が増えると、避難も困難になる。複合施設に避難所的な機能を設けることを考えてほしい。
- ・中山道の3宿を日本遺産に登録したいという動きが出ており、そうであれば、新町通りの旧中山道中津川宿らしい歴史文化の薫る街道整備について先に取り組むべきではないか。
- ・インフォメーションセンターは駅前にあるべき。

■リニア駅周辺のまちづくりについて

<委員からの主な発言>

- ・1階に観光ターミナル設置は良い案だと思った。知らない町に行って駅で降りたとき、2階か1階かわからないことがあるので、とにかく改札を出るといいう動線がわかりやすいと思う。
- ・駅周辺のイメージ図にある清流公園も、1階改札にすれば近くなるので、行ってみる気になるかと思う。
- ・1階に設置する案は良いと思う。リニア駅から在来線に行く人とバスに乗り換える人が多いと思うが、それ以外はレンタカーがほとんどだと思う。中心市街地や他の地域に来てほしいので、レンタカーを設置すべき。
- ・観光ターミナルを使わないと降りられないのは、観光ターミナルに入るお店にとってはメリット。必ずそこを歩いていく動線は利用者にとってみるとデメリットがあるが、観光ターミナル機能としては考慮しても良いのではないか。

- ・ 中心市街地と駅が離れている新青森駅、新八代駅なども参考にするとよい。
- ・ リニア駅付近の主要道路に面した場所に農畜産物、食料加工品、工業製品等の販売と特産品を利用した食事場所、観光案内所及び移住、定住相談窓口を設けた「道の駅」「屋台村」を新設し、地域を広くPRする。
- ・ 岐阜県駅周辺の1haほどの農地を整備し、AI、スマート農業を実現し、農業経営のモデルとする。
- ・ 「栗きんとん発祥の地」として印象付けるため、駅周辺又は幹線道路沿いの見える場所に栗の木を植栽する。
- ・ 岐阜県駅の周辺は癒しが感じられる自然を取り入れた風景とする。千旦林川は「清流の国ぎふ」の代表として生物多様性に富んだ河川（里川）に改修する。
- ・ リニア駅周辺の食堂等は、全店中津川産コシヒカリにする。
- ・ 中津川市と恵那市が協力・連携し、「おもてなし」ができる施設、体制を検討していく。
- ・ 坂本事務所を駅周辺に建設する。

■その他

- ・ 農畜産物を販売する温泉のある大型複合施設の建設。
- ・ 栗、落花生、菊ごぼう、自然薯等の生産振興と販売。
- ・ 貸し農園、体験型の観光農園、ハイキングコース、地域資源の活用で市内の滞在時間を延ばし、次も来たいと思ってもらえるような環境づくり。
- ・ 夜、苗木城をプロジェクションマッピングで街から見えるようにする。
- ・ 毎月、季節ごとに市内各地でイベントを行い、集客を働きかける。
- ・ 企業の本社を中津川市に誘致する。